

●平成24年度事業実施報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

平成24年度の協会運営は、平成24年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、会長・副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を具体的に効率よく実施し、総経費も予算内で行いました。

**A. 公益事業**

**1. 日本写真協会賞の平成24年表彰及び平成25年選考 【表彰委員会】**

**○平成24年対外発表及び表彰式、展示会の実施**

・我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人、団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を発表された方々の中から昨年2月17日に各賞の受賞者を選定した平成24年日本写真協会賞を、4月16日にカメラ記者クラブで対外正式発表しました。又、関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関には、ニュースレートを配布して広く写真愛好家に告知するべく広報活動にも注力しました。その後、表彰式を、6月1日(金)午後5時より三田の笹川記念会館で開催し、引続き同館レストランで受賞者祝賀会パーティーを東京写真月間レセプションと兼ねて開催し250名の方々に参加いただきました。

・受賞作品展は六本木の富士フィルムフォトサロン東京で6月1日～6月7日に開催し、六本木という場所柄もあり、会員や写真愛好家以外にも多くの方々に受賞者の受賞内容を鑑賞いただきました。

**○平成24年受賞者及び受賞理由（敬称略、五十音順）**

**☆作家賞：石川 梵**

東日本大震災の光景をいち早く纏め上げた最近作『THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶』をはじめ、地球の歴史と民の祈りをテーマに骨太のドキュメンタリー作品を制作し、常に写真の力強さを示し続けてきた活動に対して

**☆作家賞：高梨 豊**

最近作『IN'』をはじめ、旺盛な創作力で変貌していく都市をテーマにスナップショットを制作し続け、同時代人に大きな影響を与えている。写真家として進化し続ける長年の作家活動に対して

**☆作家賞：ホンマタカシ**

「ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー」展では写真の歴史を柔軟に咀嚼（そしゃく）しながら、「今日の写真」のあり方を、より開かれた文脈で見る者に問いかけた。写真の多重性を確認し続ける意欲的な作家活動に対して

**☆新人賞：公文健太郎**

『ゴマの洋品店ーネパール・バネパの街から』ほか、明快なテーマの立て方と撮り口でネパールやブラジルなどの撮影を続け、見る者を納得させ、感銘を与えるルポルタージュ作品を制作する、その真摯な活動に対して

**☆新人賞：斉藤麻子**

日本各地に点在する地層の露出（露頭）を丹念に調査しつつ中・大判カメラの精緻な描写力によって表現し、その周縁を形成する人間の営みまで写し込んで現代社会に対する批評性を内包させた作品「Exposures」や「Field Note」に対して

**☆国際賞：山岸享子**

多年にわたり日本の写真を海外に発信するとともに、海外の同時代の写真を日本に紹介し、日本の写真文化の発展に大きな貢献を果してきた功績に対して

#### ☆学芸賞：岡塚章子

「140年前の江戸城を撮った男—横山松三郎」展(江戸東京博物館)をはじめとする数多くの展覧会の企画立案、作品収集、図録編集・執筆などに携わり、独自の視点による写真へのアプローチを示したキュレーション活動に対して

#### ☆功労賞：熊切圭介

フリーランスの写真家として『週刊現代』などの雑誌・グラフ誌ほかジャーナリズムの分野で活躍するとともに、写真愛好家への指導や学校教育を通して写真界へ多大な貢献をしてきた、その功績に対して

#### ☆功労賞：故・多木浩二

繊細かつ強靱で探究心に満ちた長年の批評活動により、写真及び写真に深く依拠する現代社会を思索する上での指針を示し続けてきた功績に対して

#### ☆功労賞：福島辰夫

『福島辰夫写真評論集』で集大成された多角的な評論の数々や展覧会のオルガナイザー、ディレクターなど、長年にわたる幅広い活動により日本の現代写真に大きな道すじを引いた功績に対して

#### ☆功労賞：村井 修

建築・彫刻・街並みを対象に制作活動を行い、半世紀を越える長きにわたって建築写真の第一人者として活躍するとともに、大学で後進の指導にあたるなど写真文化の向上に大きく寄与した功績に対して

### ○平成25年受賞者の選考

平成25年日本写真協会賞の選考は、恣意的な選考に陥らないよう、会員及びノミネーターから昨年末までに候補者の資料を広く収集し、2月18日(月)、5名の選考委員による「選考会」を開催し、作家賞2名、新人賞2名、学芸賞1名、功労賞2名、の受賞者を決定。なお、国際賞は受賞者なしと致しました。

これを3月19日開催の理事会に報告し、年度の改まった平成25年4月16日に对外発表。

#### ○選考委員 (敬称略、五十音順)

|         |           |
|---------|-----------|
| 大西 みつぐ  | (写真家)     |
| 金子 隆一   | (写真史家)    |
| 英 伸三    | (写真家)     |
| 堀 瑞穂    | (ジャーナリスト) |
| ハービー・山口 | (写真家)     |

#### ○平成25年受賞者及び受賞理由 (敬称略、五十音順)

##### ☆作家賞：北井 一夫

1960年代から、独自の視点と写真美に支えられた手法で成田空港反対闘争や農村と都市の日常を捉え、それらの作品を東京都写真美術館「いつか見た風景」展で結実させた。その長年の写真制作活動に対して

##### ☆作家賞：本橋 成一

『屠場<とば>』や新装改定された『上野駅の幕間』など、国内外で時間をかけて一つのテーマに取り組み、被写体と真摯に向き合って社会の一側面を照らし出す作品を制作し続けてきた。その作家活動に対して

##### ☆新人賞：西野 荘平

無数の小さなプリントを貼り合わせた世界主要都市の俯瞰図「Diorama Map」は、抽象と不思議なリアリティーが混合された独特な世界を表出させた。写真表現の新たな可能性を切り開く、その作品制作活動に対して

##### ☆新人賞：由良 環

比較都市論の視点から世界10都市を定点観測した写真集・写真展「TOPOPHILIA」は、撮影日の時間帯の推移だけでなく都市の歴史まで喚起させ、更に世界認識のあり方をも問いかける。その労作に対して

##### ☆国際賞：受賞者なし

### ☆学芸賞：上野 修

幅広く柔軟な視点とゆるぎない知識、美意識に基づき、長年にわたり地道な写真評論を展開し、『写真批評 集成』に集大成した。その包括的かつ正統な写真評論活動に対して

### ☆功労賞：茶谷 茂

プロ用感光材料や写真機材の商品開発、普及活動に従事するとともに、多くのプロ写真家やアマチュアに対する撮影技術指導や東京写真月間の運営、ネーチャー・フォトの振興など様々な活動を通して、写真文化の底辺を拡大することに大いに寄与した功績に対して

### ☆功労賞：山田 實

戦後沖縄写真界の指導的な存在として庶民の日常生活を捉えた作品を制作する傍ら、復帰以前から日本人写真家の沖縄での作品制作を影で支えた。沖縄を基盤とし、日本の写真文化に独自の軌跡を刻んだ、その永年の写真活動に対して

## 2. 「東京写真月間2012」の開催と「大阪写真月間2012」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設17年目を迎えた「東京写真月間2012」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁、東京都、フィリピン大使館の後援、25の企業・団体の協賛、YUKI TORII、フィリピン政府観光省の特別協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月22日から約5週間にわたって開催し、延べ入場者数44,200人を数え、6月29日好評のうちに終了しました。また地方巡回展には、北海道東川町、大阪府、福島県、長野県池田町、高知県での巡回展示開催いたしました。

### ○国内展「心が光る瞬間」

国内企画展は、「心が光る瞬間」をテーマに都内4会場で写真展を開催。その後「写真の町」東川町文化ギャラリー7月1日(日)～7月19日(木)を巡回。また、大西みつぐ展「砂町」は高知県立歴史民俗資料館11月17日(月)～25日(日)を巡回致しました。

### 金指栄一「生麦魚河岸」

ユニカミノルタプラザ・ギャラリーB 5月22日(火)～5月31日(木) 入場者数 7,657名 (10日間)

横浜市鶴見地区の浜側にある魚河岸で魚や貝を取り扱う目利きのプロの従業員の仕事ぶりや、魚を買いに市場を訪れる人々との触れ合いを捉えた作品は人の絆の大切さを実感させてくれました。

### 小池友美「穏やかな光」

ペンタックスフォーラム: 5月30日(水)～6月11日(月) 入場者数 3,785名 (12日間)

東日本大震災による原発事故によって、汚染によって長年住み慣れた土地から避難生活を余儀なくされた作家が、事故発生前の住み慣れた土地の自然の穏やかさとそこに住む人々の平和な日常を記録した写真を展示しすることによって、一日も早い復旧を祈る気持ちは見る人に大きな感動を与えました。

オリンパスギャラリー東京 5月31日(木)～6月6日(水) 入場者数 1,500名 (6日間)

### 沼田早苗「町のいとなみ」

東京の都心の繁華街からちょっと外れた下町に見られる気取りのない商店のいとなみは住む人に安心感を与え、行き交う人々の表情には飾らぬ人間性に満ちており、このような穏やかな平和が長く続いて欲しいと願わずにはいられない。

### 大野葉子「刻～とき～」

母親として我が子と毎日向き合いながら過ごした日々を捉えた記録を展示した。それらの記録は10年、20年と長い時間が経過した後、決して戻ることの出来ない時間や情景の大切さを改めて感じさせてくれました。

### 大西みつぐ「砂町」

エプソンイメージングギャラリーエプサイト 6月8日(金)～6月21日(木) 入場者数 3,070名 (12日間)

多感な青春時代から結婚、子育てと12年間も住み親しんだ東京江東区「砂町」は、作者にとって大きな存在となっている。次第に薄れていく下町の密集感や街並みに何となく漂う寂寥感を長年切り取って来た。「時代の波に変貌していく砂町には一抹の寂しさを感じるが、出来る限り、時代の変化に向き合っていきたい」(大西談)

## ○国際展「アジアの写真家たち2012 フィリピン」

フィリピン写真展は12名の写真家が参加し、4会場で展示された。キリスト教信者が圧倒的に多い同国は、他のアジア地区と異なり宗教の祭事には華麗さはないが、祭りに対して熱狂する様子や山岳部族の風俗の生活を捉えた写真は経済発展途上国の裏面を見る事ができた。また大胆なアート感覚を取り入れたものや斬新な写真表現も多く、見る者を感動させていました。

### 「The Hope and The Dream in Filipino - Section I」

銀座ニコンサロン 5月23日(水)～6月5日(火) 入場者数3,000名 (14日間)

※セミナー開催:5月31日(木)「進化するフィリピンの写真表現」 入場者数60名

### 「The Hope and The Dream in Filipino - Section II」

キャノンSタワー2F オープンギャラリー 5月29日(火)～6月18日(月) 入場者数1,479名 (18日間)

### 「The Hope and The Dream in Filipino - Section III」

リコーフォトギャラリーRING CUBE 5月30日(水)～6月10日(日) 入場者数2,877名 (10日間)

### 「The Hope and The Dream in Filipino - Section IV」

日本アセアンセンター・アセアンホール 5月29日(火)～6月14日(木) 土日休 入場者数1,500名 (11日間)

※5月31日(木) Cheryu Baldicantos (フォトジャーナリスト)によるトークショー

※6月13日(水) Charito (フィリピンの在日ジャズシンガー)のコラボコンサート

## 「アジアの写真家たちフィリピン交歓パーティ」

キャノンSタワー3FキャノンホールS ホワイエ 5月30日(水) 出席人数:200名

フィリピン展のキュレーターのIsa Lorenzo女史、Veejay Villafrancas氏などの招聘写真家の他、7名の写真家が来日し、日本の写真家、写真関連メーカーやギャラリー関係者と文化交流を行った。当日は、フィリピン政府観光省により、フィリピンビールが提供されました。

## ○「写真の日」記念 公募による写真展・2012

新宿パークタワーギャラリー3 6月21日(木)～6月24日(日) 入場者数600名 (4日間)

外務大臣賞・環境大臣賞・優秀賞・協賛会社賞(33社)などの他合計302点展示

選考委員:前田晃、榎並悦子、(公社)日本写真協会 表彰式:2012年6月23日(土)

「写真の町」東川町文化ギャラリー 7月1日(日)～19日(木)、福島テルサ4Fギャラリー 9月1日(土)～10日(月)

富士フィルムフォトサロン大阪 10月5日(金)～11日(木)、高知県立歴史民俗資料館 11月17日(土)～25日(日)

北アルプス展望美術館(池田町立美術館) 12月8日(土)～24日(月) を巡回しました。

## ○「1000人の写真展《わたしのこの一枚》」

新宿パークタワー ギャラリー3 6月16日(土)～20日(水) 入場者数4,375名 (5日間)

※会場では撮影者と写真を見る人と自由な雰囲気のもとで写真について語り合っていました。

## ○企画展「見つけた!撮った!ワンダーランド」

みどりのiプラザ/ギャラリー1 5月19日(木)～6月29日(金) 参加者約500名

「こどもの目線」写真展1,080点展示 5月19日～6月6日

「G サミット2012」110点展示 6月8日～29日 入場者数5,000名

※5/20(日)写真展に参加した子供たちによる日比谷公園内のいきもの撮影会、親子記念撮影実施

## ○日本写真協会賞受賞作品展

日本写真協会賞受賞作品展は6月1日～7日、東京六本木の富士フィルムフォトサロンで開催しました。

入場者数8,928名 (7日間)

## ○レセプション

6月1日(金) 午後6時30分より三田の笹川記念会館レストランで、日本写真協会賞受賞者祝賀会と兼ねて、東京写真月間レセプションを開催し250名の方々に参加いただきました。

## ○図録の発行

2012年に実施した「東京写真月間2012」を総括した図録を作成して、ご協力いただいた関係機関に配布すると共に関係各国大使館や図書館、美術館、ギャラリー、行政府等の公共機関にも無料提供しました。

又、「写真の日 記念写真展」入賞者等購入を希望する写真愛好家には一冊2,000円で頒布しました。

この「東京写真月間2012」の開催にあたり、外務省、環境省、文化庁、東京都のご後援各企業、団体からのご協賛、ご協力をいただきました。

## ○「大阪写真月間2012」への協賛

大阪の写真文化の向上を目指す「大阪写真月間」は今年で11年目を迎え、下記内容の写真展等を実施しましたが、その趣旨に賛同し協賛金436,000円を協賛して応援しました。

- ① 小学生のための写真教室「親子で挑戦!モノクロ写真教室」 5月13日 ビジュアルアーツ専門学校  
一眼レフでモノクロフィルムフィルム現像プリント体験。 参加人数:13家族16名
- ② 写真家150人の一坪展 5月31日~6月13日 参加143名  
大阪ニコンサロン、キヤノンギャラリー梅田、富士フィルムフォトサロン大阪、  
ビジュアルアーツギャラリー、オリンパスギャラリー大阪
- ③ 大阪写真月間ハイスクールフォトアワード  
6月7日~6月13日 ニコンサロンbis大阪 参加12校96作品
- ④ 1000人の写真展「わたしのこの一枚」 6月13日~18日 イロリ村 [89] 画廊
- ⑤ 企画写真展「東北より」  
東北地方で活動を続ける写真家支援として企画展「東北にて」を5月31日~6月6日にニコンサロンBis  
大阪で開催。東北在住の写真家野寺亜季子「Lamp」、伊東卓「ROOMS」、秋保桃子「灯す」の作品を展示。
- ⑥ シンポジウム「震災と写真」-写真と写真家ができること-  
「震災と写真」-写真と写真家ができること、をテーマとして6月17日にアーツホールで開催

## 3. 国際交流活動 【国際交流委員会】・【写真月間委員会】

①国際展「アジアの写真家たち2012 フィリピン」

②平成23年からセルビア、ドイツで展示した「日本写真協会賞新人賞受賞作品展2007~2009 Crown on the Earth」

(北野謙氏、吉村和敏氏、石川直樹氏、前川貴行氏、屋代敏博氏、小川康博氏、佐藤信太郎氏)をロシアのモスクワ・オムスク(平成24年1月、3月~4月)に続いてノヴォシビルスク(4月~5月)、サンクトペテルブルク(6月~7月)、イルクーツク(7月~9月)、トムスク(10月~11月)、ペルミ(平成25年2月)にて開催しました。サンクトペテルブルクでの展示にあわせ、モスクワとサンクトペテルブルクの二ヶ所で写真評論家飯沢耕太郎氏の講演会「日本現代写真の一断面」も開催し、日本の現代写真界への理解の深化を図りました。

また、「日本写真協会賞新人賞受賞作品展2010~2012 New Horizons」(笹岡啓子、藤岡亜弥、大和田良、村越としや、公文健太郎、斉藤麻子)をロシアのチェボクサルイでの写真祭に出展(6月~8月)、その後モスクワ(8月~9月)、ペルミ(平成25年3月~4月)を巡回し好評を得ました。

③講演会の開催

6月2日に平成24年日本写真協会賞国際賞受賞者山岸享子氏による講演会「走り続ける写真」を富士フィルムスクエア2階会議室にて開催、約40名が、参加しました。内容の一部は会報8月号に掲載しました。

④FAPA大会に参加

10月7日から10日まで、中国貴州省貴陽市、凱里市及びその近郊にてFAPA(アジア写真芸術団体連合)の第23回大会が開催され、日本からは合計17名が参加しました。伝統的な踊りや刺繍の撮影の他、アジア各国から参加した参加者との交流を持つ機会を得ることができました。

#### ⑤外国人写真家・写真関係者との交流

4月19日に、①の新人賞受賞作品展のロシアでのコーディネートを務めているキュレーターのアンドレイ・マルティノフ氏が、また8月31日にハンガリー人写真家のコーシャ・フェレンツ氏が当協会を表敬訪問しました。

#### ⑥24年度海外派遣研修生希望者の文化庁への提出

11月に応募があった24年度海外派遣研修生希望者6名を文化庁に提出いたしました。その結果、北野謙氏はアメリカ合衆国LA/The Lapis Pressに1年、与田瞳氏はイギリス・ロイヤルカレッジ・オブ・アートに1年、研修生として派遣されることになりました。

### 4. 写真・映像教育の推進 【写真・映像教育推進委員会】

・写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親しみを目的に写真体験教室を実施し、24年度を含めて7年間で、133箇所、6,383人が参加しました。

・本年度も、従来からの銀塩写真教室に加え、デジタル写真教室のプログラムの更なる充実を図り25件中10件のデジタル写真教室を実施しました。

デジタル写真教室の基本的なプログラムは、コンパクトカメラによるレ・ワイドとマクロ撮影及び自分で撮影した写真の選定と撮影意図の発表ですが、子どもたちは自由に色々な被写体を追いかけて、大伸ばしの四切プリントに感動し、撮影意図についても的確な意見発表をする子どもが多く、楽しい体験ができたと大変好評でした。

・当年度は、フィルムカメラを使用した「モノクロ写真体験教室」を2件で130名、「手作りピンホールカメラ写真体験教室」を13件で751名、「デジタル写真体験教室」を10件で287名の計25件開催し、1,168名が参加しました。

・写真教室の開催場所（主催者）は小学校（12校）、公民館やコミュニティーセンターなど（3カ所）、美術館・博物館・文化会館など（10カ所）とこれまで以上に多岐にわたってきました。

・世界報道写真展の関連イベントとして、「大阪写真月間」と協力し大阪会場にてピンホール写真体験教室を実施しました。

写真・映像教育推進活動が学校関係者にも広く知られるようになり、小学校では、課外活動、放課後子ども教室だけでなく、理科、図工や総合的な学習の時間の正規授業として行われる事例も増えており、リピート実施を要請する主催者も増えています。

平成24年度も、神奈川県と（財）神奈川科学技術アカデミーが共同で実施している「なるほど！体験出前教室」（神奈川県研究者・技術者等学校派遣事業）の講師として採用され、神奈川県内小学校4校で写真体験の授業を実施しました。

また、札幌から沖縄までの教育支援関係者、教育委員会関係者などが集まる「第6回東京都教育支援コーディネーター・フォーラム」に参加し、プログラムの紹介や、学校支援に関わっている方々と交流を深め、効果的な教育プログラムのあり方等について、情報・意見交換を行いました。

東京、神奈川など首都圏の教育支援事業として認知度を高め、写真映像教育への関心は大きな広がりを見せています。

### 5. 日本写真年報の発行 【出版広報委員会】

1958年（昭和33年）に創刊の、「日本写真年報」は2012年版・第55巻を6月初旬に発行しました。公益社団法人化対策の一環として、2011年版からは「日本写真年報」の編集発行事業を《不特定多数の利益の増進》に資する公益事業とすべく、会員向けである会員名簿や定款・役員を年報から分離独立させて発行しました。「日本写真年報」は、年間の写真活動が長年にわたって継続集約された国内唯一の資料となっており、写真関係者はもとより、諸官庁、報道機関、教育機関、美術館、図書館など広く各方面より好評を得ています。

## B. 共益事業

### 1. 会報の発行 【出版広報委員会】

24年度は、季刊として年4回、5月・8月・11月・2月に449号～452号を発行し、各時点における協会の活動や今後の計画、写真文化 情報などを紹介しました。

#### ・主要掲載記事

夏号：日本写真協会賞受賞者決定、「東京写真月間2012」開幕、「ミラーレス一眼のクオリティ」

秋号：日本写真協会賞新人賞受賞者特集インタビュー記事、「写真月間2012」閉幕、山岸享子氏講演会「走り続ける写真」の要約

冬号：「神話のことは ブラジル現代写真展」開催、「フォトジャーナリズムは今（石川梵氏、熊切圭介氏対談）」、「インターネットと写真の親密な関係」

春号：「ロバート・キャパ/ゲルダ・タロー 二人の写真家」展を巡って、「緊急課題 写真フィルムの劣化とその対策」、「わくわくおどろき！写真体験教室」、「現代カメラガール&ボーイ」

### 2. 日本写真協会賞受賞祝賀会 兼 叙勲・褒章祝賀式典 兼 東京写真月間レセプション 開催

【総務委員会・東京写真月間委員会】

6月1日「写真の日」に笹川記念会館において、日本写真協会賞表彰式及び当該年度の写真界における叙勲・褒章祝賀式典を行ない、引続き受章祝賀会と東京写真月間レセプションを共同開催。会員の親睦を図る意図も含め「写真の日」事業の一環として開催しました。250名の方々に参加いただきました。

## C. 法人運営事業

### 1. 理事会の開催 【総務委員会】

4月27日の第1回通常理事会において、平成23年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、会長の業務執行権代行者、役員報酬の支給方法、定時社員総会開催内容を決定いたしました。また、6月18日に書面による理事会を実施し、顧問1名、出版広報委員1名を選任致しました。

平成25年3月19日に第2回通常理事会を開催、平成25年度事業計画、平成25年度予算を承認致しました。

### 2. コンプライアンス 【コンプライアンス委員会】【総務委員会】

平成25年3月11日にコンプライアンス委員会開催（大平業務執行理事、井沢理事、松本理事）し、平成24年度は、当協会の問題となる事項はなかったことを確認しました。平成25年度は当協会内及び外に、コンプライアンスに関する問題に対しては情報連絡を密にすることとしました。

### 3. 展覧会等の後援 【総務委員会】

当協会は公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化、教育、国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、平成24年度は以下の催事をバックアップしました。

| No. | 申請者                      | 写真展名                    | 会期・場所                       |
|-----|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1   | 社団法人 日本文化協会              | 第27回全国盲人写真展             | 5月21日～5月26日 東京新宿モノリスビル      |
| 2   | 株式会社プロダigy               | PHOTONEXT 2012          | 6月26日～6月27日 東京ビッグサイト・西4ホール  |
| 3   | 相模原市総合写真祭フォトティさがみはら実行委員会 | 相模原市総合写真祭フォトティさがみはら2012 | 4月1日～平成25年3月31日 相模原市民ギャラリー他 |

| No. | 申請者                                        | 写真展名                                                    | 会期・場所                                                                                                                             |
|-----|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | 朝日新聞社                                      | 世界報道写真展 2012                                            | 6月9日～8月5日 東京都写真美術館、8月7日～8月16日 大阪・パルコ、9月19日～10月14日 京都・立命館大学国際平和ミュージアム、10月16日～11月1日 滋賀・立命館大学びわこくさつキャンパス、11月4日～11月18日 大分・立命館アジア太平洋大学 |
| 5   | 写真家の国際交流をすすめる会                             | 「2012 イデア日本写真交流展」                                       | ①「流れのために (To Flow)」 5月21日～6月2日 アートスペース・ムリア α・β、②「松戸イデア～地域から世界へ」 5月7日～6月2日 千葉県立松戸高校ギャラリー                                           |
| 6   | 礼文町観光協会                                    | 2012 彩北航路フォトコンテスト                                       | 募集：6月1日～9月30日 催事場所：利礼航路                                                                                                           |
| 7   | ハンガリー文化センター 日本ハンガリー友好協会「コシヤ・フェレンツの世界」実行委員会 | 写真展コシヤ・フェレンツの世界「多元時空」                                   | 9月2日～9月15日 渋谷区ギャラリー大和田                                                                                                            |
| 8   | 一般社団法人カメラ映像機器工業会                           | CP+ 2013 (Camera & Photo Imaging Show)                  | 2013年1月31日～2月3日 パシフィコ横浜                                                                                                           |
| 9   | 公益社団法人日本広告写真家協会                            | 第4回「全国学校図工・美術写真公募展」                                     | 7月上旬～11月末日 (応募受付)、展示：東京都写真美術館 (平成25年3月中旬)、大阪市立美術館 (平成25年4月中旬)                                                                     |
| 10  | 東川町写真の町実行委員会                               | 第28回東川町国際写真フェスティバル                                      | 7月24日～9月4日 東川町町内一円                                                                                                                |
| 11  | 八尾市写真協会 (会長 高橋弘)                           | 東日本大震災支援チャリティ写真教室                                       | 6月23日 八尾市生涯学習センター 4階 視聴覚教室                                                                                                        |
| 12  | 学校法人 日本放送協会学園                              | 第19回NHK学園「旅の写真展」                                        | 8月22日～8月27日 みなとみらいギャラリー (横浜)                                                                                                      |
| 13  | (株)イー・エム・エス                                | 御苗場                                                     | 10月18日～21日 大阪海岸通ギャラリー CASO Contemporary Art Space Osaka                                                                           |
| 14  | 一般社団法人 日本現代写真家協会                           | JMPA 第4回会員写真展名古屋展                                       | 10月9日～10月14日 名古屋市民ギャラリー栄                                                                                                          |
| 15  | 一般社団法人 日本現代写真家協会                           | 子どものアート体験プログラム「ピンホールカメラで写真を撮ろう!」                        | 10月13日 豊田市視聴覚ライブラリー                                                                                                               |
| 16  | 「こっぼん大使たちの視線」写真展実行委員会                      | 「こっぼん大使たちの視線2012」写真展<br>“Japan through Diplomats’ Eyes” | 10月9日～10月15日 六本木ヒルズ ヒルズカフェ、11月20日～11月30日 名古屋セントラルパークギャラリー、12月7日～2013年1月25日 ひょうご国際交流センター、2013年3月30日～4月8日 仙台ゲートウェイ、8月札幌、9月北海道東川町等巡回 |
| 17  | 写真交響楽展実行委員会 倉石 馥                           | 写真展「写真交響楽-写真を楽しむ」                                       | 11月14日～11月18日 紋別市立博物館、平成25年1月8日～1月30日 東川町文化ギャラリー 第3展示室                                                                            |
| 18  | 日本放送協会学園                                   | 「第23回NHK学園生涯学習写真展」                                      | 2013年2月1日～2月7日 富士フィルムフォトサロン東京                                                                                                     |
| 19  | (株)アイズジャパン                                 | 「第9回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞」                                 |                                                                                                                                   |
| 20  | (公財)吹田市文化振興事業団・韓国環境文化連合                    | 第11回BIEAF(釜山国際環境芸術祭)大阪展「美しい地球 日本と韓国の写真家による写真展」          | 2013年3月26日～3月31日 大阪府吹田市文化会館メシアター                                                                                                  |
| 21  | 双葉ばら園写真展実行委員会                              | 写真展「私たちが愛したバラ園」-福島・双葉に美しいバラ園があった-                       | 2013年1月31日～2月13日 HCLフォトギャラリー-新宿御苑、2月8日～2月14日 フレームマン・キング・サロ、3月2日～3月17日 白沢ふれあい文化ホール(福島)、3月21日～4月2日 コンプレックス仙台フォトギャラリー                |

以上